

2021年度茨城県育成センター新型コロナウイルス対策ガイドライン（U13～U15）

1) はじめに

「2021年度茨城県育成センター新型コロナウイルス対策ガイドライン」（以下、本ガイドライン）は、JBA（公益財団法人日本バスケットボール協会）バスケットボール活動再開に向けたガイドライン第3版および、茨城県中学校体育連盟が作成する「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」等を参照し、作成しております。なお、今後、状況に応じて、本ガイドラインについても見直すことがあり得ることにご留意ください。

2) 基本方針

本ガイドラインの策定にあたっては、以下の項目を基本方針として掲げました。

（1）安全最優先

生命・健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最大限に排除した、選手・チーム、それらの方のご家族等が安全に活動できる環境を提供します。観客の有無については事業開催時の感染状況や会場の収容人数等を考慮し決定します。安全に活動するために無観客での開催となることもありますのでご理解、ご協力をお願いします。

（2）「新しい日常」・「新しい生活様式」への適応

Before コロナの「日常」が即座に戻ることは無いということを前提に、置かれた状況の正確な分析・理解に基づくガイドラインを設計します。

（3）FIBA 再開ガイドライン

FIBA（国際バスケットボール連盟）より再開におけるガイドラインが公開されており、バスケットボール競技の特性を考慮しながら作成します。

（4）不当な扱いや差別などの禁止

感染状況で異なる活動差をもって選手やチームを不当に扱う事はせず、感染状況に起因する一切の差別や誹謗・中傷を許容しません。

3) 陽性者/濃厚接触者/体調不良者の定義

（1）「陽性者」とは

以下の症状の有無にかかわらず、「PCR 検査・抗原検査により新型コロナウイルス感染症と診断された者」を指します。

～新型コロナウイルス感染症が疑われる症状～

発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など

（2）「濃厚接触者」とは

陽性者の感染可能期間内に接触した者のうち、次の範囲に該当する者を指します。濃厚接触者は陽性者が判明した際に保健所が特定するので、行動履歴の記録は非常に重要です。

- ①陽性者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- ②適切な感染防護無しに陽性者を診察、看護若しくは介護していた者
- ③陽性者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ④手で触れることの出来る距離（目安として1 m）で、必要な感染予防策なしで、陽性者と15分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）

（3）「体調不良者」とは

以下の目安に該当する方と考えられます。

厚生労働省が発表している以下いずれかの目安に該当する方は、「帰国者・接触者相談センター」に相談してください。地域によっては医師会や診療所等で相談を受け付けている場合があります。

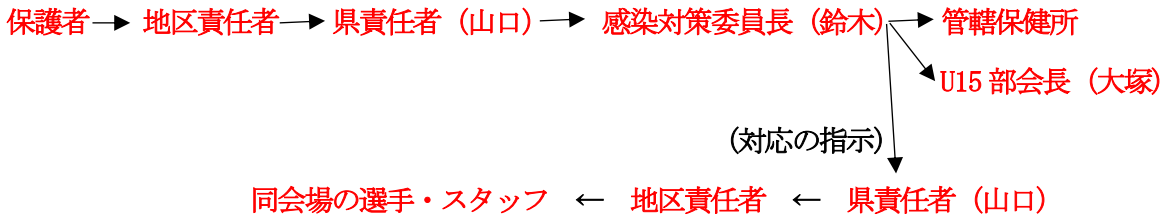
- ①息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合

- ②重症化しやすい方(高齢者や基礎疾患がある人)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪症状等がある場合
- ③比較的軽い風邪が続く。

※発熱症状が出ない感染ケースもあるため、上記症状を感じた場合は必ず相談してください。

4) 感染対策責任者の設置

- ・各地区育成センターは**感染対策責任者（以下地区責任者）**を設置してください。
- ・地区責任者は、事業後に参加者よりで陽性者が発生した場合、以下の連絡系統で報告する。



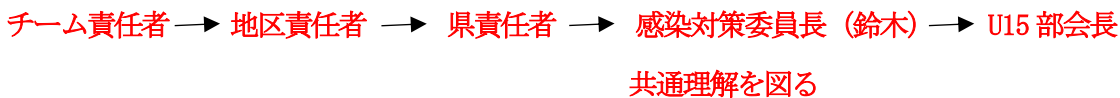
※スタッフで陽性者が出た場合も同様とする。

※**感染対策責任者（鈴木）**は**県責任者**に連絡をし、その後の対応を指示する。

※**感染対策責任者（鈴木）**は**管轄保健所**からの指示について**U15 部会長**へ報告する。

・チーム責任者は日常のチーム活動において健康チェック、検温を選手が行うことを管理し、陽性者や濃厚接触者が発生した際の保健所との情報連携を行う担当となることが求められます。感染してから対応を考えるだけでなく、いかにして陽性者を出さないようにするか対応を行うことが大切です。

・チーム責任者は、事業2週間前にチーム内で体調不良者・濃厚接触者・陽性者が発生した場合は以下の連絡系統で報告し、活動についての指示を受ける。



5) 選手・スタッフの参加条件

- ・参加する意思があること、自由意思での参加の確認
 - ⇒ 同意書の提出にて確認を行ってください。
 - ※「感染は悪ではない」の考え方にに基づき実施を行います、参加されるかどうかは強制ではなく、自由意志によるものであることをご確認ください。
- ・参加辞退について（感染辞退は責められることはありません）
 - ⇒ 参加決定した後でも、学校事情等選手本人に不都合が生じると考えられる場合は、辞退はやむを得ず、誹謗中傷にならないように配慮してください。
- ・感染症状について（症状が見られないこと）
 - ⇒ 選手、スタッフ等の参加者は、事業が開始される2週間前から「体温チェックシート」で健康状態を観察・記録する必要があります。
 - ※ 会場に入場する選手・スタッフ全員の健康チェックシート兼参加承諾書と体温チェックシートの提出が必要になります。
 - ※ 健康チェックシートにチェックがつかない場合、当日の体温が 37.5℃を越える場合、体調に少しでも不安がある場合は、該当者の出場を見合わせ、感染対策責任者まで御報告ください。
 - ※ 御報告頂いた内容・御相談内容を関係者に共有する場合には、必要に応じて個人情報を取り除いた上、共有させていただきます。
- ・選手のコンディションについて
 - ⇒ コンディションが整っているかどうかについては、所属チーム他にて活動が行われていることをチェックしてください。
 - ⇒ 実際の活動を見て判断してください。

・保険加入とその範囲

⇒ 参加する選手、スタッフは保険加入を行ってください。

⇒ コロナ感染については、保険対応は行うことはできませんのでご了承ください。

【体温測定、体調チェック】

体温測定：選手、チームスタッフ、審判、関係者、スタッフは必ず毎日実施してください。

6) 新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) のダウンロードの推奨

・事業参加者は7月18日(日)(事業開催約2週間前)までに、厚生労働省が開発した陽性者との接触を確認するためのアプリで(COCOA)をインストールし、陽性者との接触が無いか確認することを推奨します。参加者がCOCOAによって濃厚接触者と発覚した場合は、感染対策責任者は上記の連絡系統を参照し、連絡してください。各会場において「いばらきアマビエちゃん」のQRコードにも毎回登録をお願いします。

【参考】厚生労働省:新型コロナウイルス接触確認アプリ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

7) 感染または、感染の疑いがある場合の報告事項

【参加資格】

(1) 選手、スタッフは事業2週間前から当日において、以下に該当しないこと。

1 37.5℃以上の発熱がある

2 咳(せき)、のどの痛み、などの風邪症状がある

3 だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がある

4 臭覚や味覚の異常がある

5 体が重く感じる、疲れやすい等がある

6 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある

7 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる

8 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

※ 上記に該当した際は、主催者にて参加を取り消す場合があります。各地区感染対策委員にご相談ください。

(2) 「チーム内に感染が疑われる者がいない」そして「試合を行うための選手のコンディションが整っている」の2つの条件が最低限揃うこと。

【その他通知要項】

(1) 育成センターに参加する選手及びスタッフは、主催者が定めるガイドラインの各種事項について遵守するものとし、虚偽等は一切あってはならない。

(2) 選手及びスタッフは、事業当日に健康チェックシート兼参加承諾書と体温チェックシートを受付で提出し、会場への入場許可をもらうこと。(検温結果および健康状態によっては入場をお断りする場合があります)。

(3) 「上記【参加資格】の(1)」の事項を含め、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した際は、活動中であつたとしても参加資格を取り消す場合がある。

(4) 事業の2週間前からにおいて、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した場合は、その者の来場と活動への参加を不可とする。また、体調不良者が発生した後で、保健所等の判断を仰ぐにあたり、その後の事業運営等に大きな支障をきたす場合は事業を中止する場合がある。

(5) 政府や都県から新たな措置(緊急事態宣言や自粛要請等)が発出された場合は事業を中止する場合があります。

※大会を中止する場合の要件

- ・ 緊急事態宣言中
- ・ 茨城県中学校体育連盟より実施不可の指示が出た場合
- ・ 事業を実施するのに十分な練習期間が保てない場合
- ・ 茨城県コロナ Next ステージ 4 の場合

8) 「新しい生活様式」に加え、バスケットボールを行う上での感染対策

- ・ マスクの着用やソーシャル・ディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
- ・ 手指消毒液など、試合や練習では広く使用できるように準備し、頻繁に手洗いを実施する。
- ・ スポーツ施設・用具器具、その他の備品も頻繁に消毒する。

※バスケットボールの消毒に関しては、ボールそのものの劣化を招く可能性があるとされていますので、指定ボールメーカーの「お手入れ方法」に従い実施する。

- ・ タオルの共有はしない。
- ・ ボトルのまわし飲みをしない。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。

(1) 諸室

- ・ 各部屋に手指消毒液を設置する。
- ・ 全てのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ・ 座席を設置する際に前後左右 1.5 m ～間隔を空け、お互いが正面に座らないよう配慮する。
- ・ 喫煙所は設けない。

(2) 手洗い場所・トイレ

- ・ 便器のふたを閉めて汚物を流すよう表示する。
- ・ 手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意する。
- ・ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ・ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意する。

(布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない。)

- ・ 手指消毒液を設置する。

(3) 更衣室・ロッカールーム

- ・ 広さにはゆとりを持たせ、利用者同士が密になることを避けること。
- ・ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限する、別室を用意するなどの措置を講じる。
- ・ 室内またはスペース内で複数の利用者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については消毒する。
- ・ 換気扇を常に回す、2つ以上のドア、窓を常時開放して換気を行う。
- ・ 利用者はロッカールームの滞在時間を短くするため着替えに限定する。使用中の会話は控える。

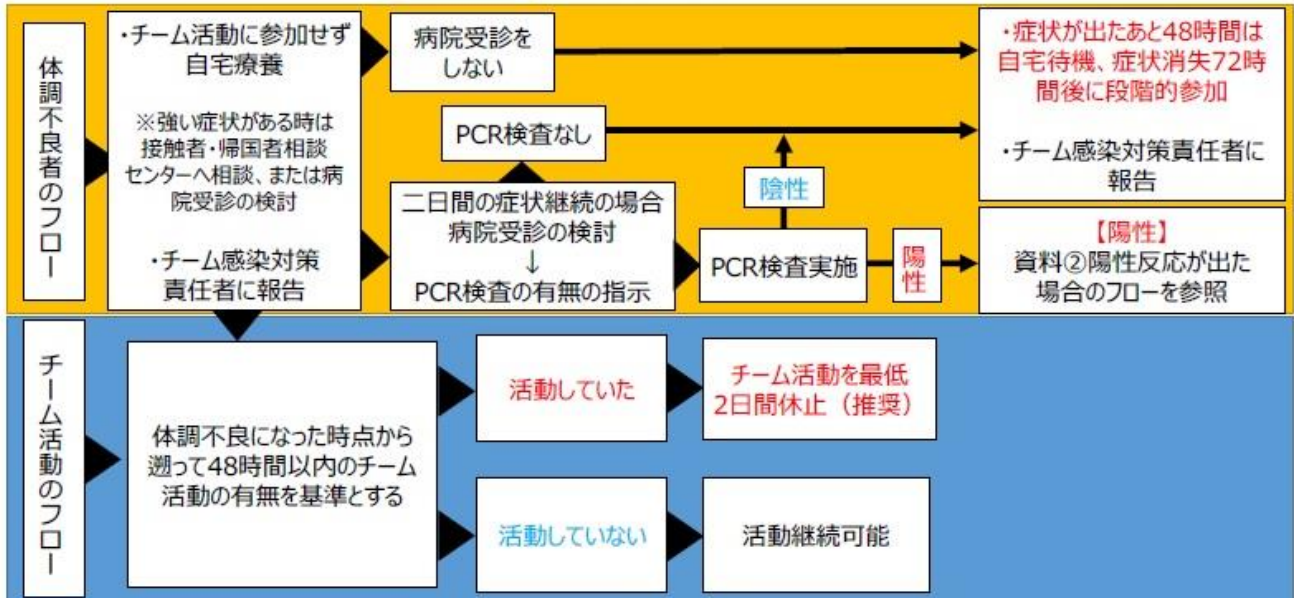
9) 陽性者/濃厚接触者/体調不良者が判明した場合の対応 (参考)

【チーム活動時におけるガイドライン】

資料①チーム内の選手・スタッフから 体調不良者が出た場合のフロー

【体調不良の基準】

1. 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある場合。
2. 重症化しやすい方(高齢者や基礎疾患がある人)で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。
3. 比較的軽い風邪が続く。



チーム責任者・大会主催者向け

【大会開催前におけるガイドライン】

資料①チーム内の選手・スタッフから 体調不良者が出た場合の大会参加判断フロー

【体調不良の基準】

1. 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある場合。
2. 重症化しやすい方(高齢者や基礎疾患がある人)で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。
3. 比較的軽い風邪が続く場合。



【大会参加可否の事例① チームから体調不良者が発生した場合】

チームが大会参加 できる事例

【解説】発症日から遡って48時間以内にチーム練習を行っていないため、チームは参加可能です。体調不良になった方は参加を自粛してください。



チームが大会参加 できない事例

【解説】発症日から遡って48時間以内にチーム練習を行っているため、チームは最低2日間活動を自粛することを推奨します。よって、大会参加も自粛が推奨されます。



※対戦した相手チームから、対戦後体調不良者が出た場合は、この限りではない。

(対戦相手の体調不良者がPCR検査を実施) → 結果が出るまでは活動不可

(対戦相手の体調不良者がPCR検査陰性) → 活動可能

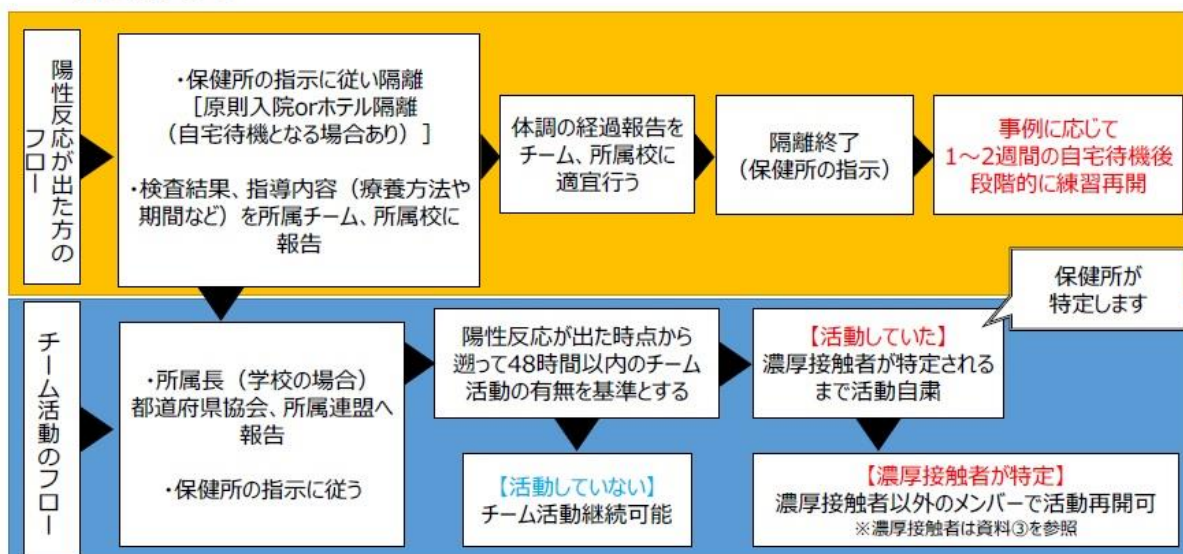
(対戦相手の体調不良者がPCR検査陽性) → 活動不可

(対戦相手の体調不良者がPCR検査実施なし) → 活動可能

※PCR検査の実施の有無に関しては、受診した医療期間の指示に従うこと。

【チーム活動時におけるガイドライン】

資料②チーム内選手・スタッフから陽性反応が出た場合のフロー



チーム責任者・大会主催者向け

【大会開催前におけるガイドライン】

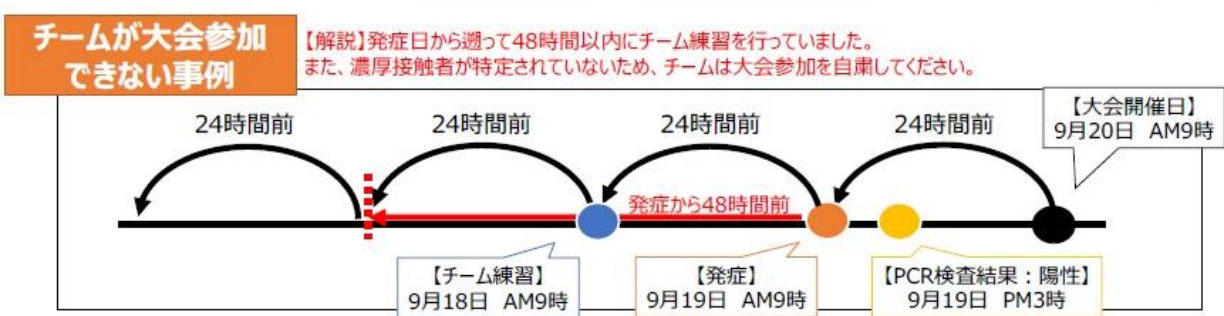
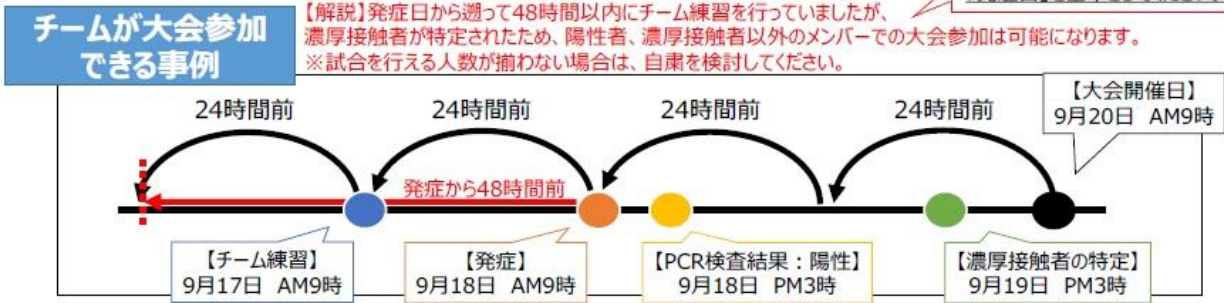
資料②チーム内の選手・スタッフから

陽性者が出た場合の大会参加判断フロー



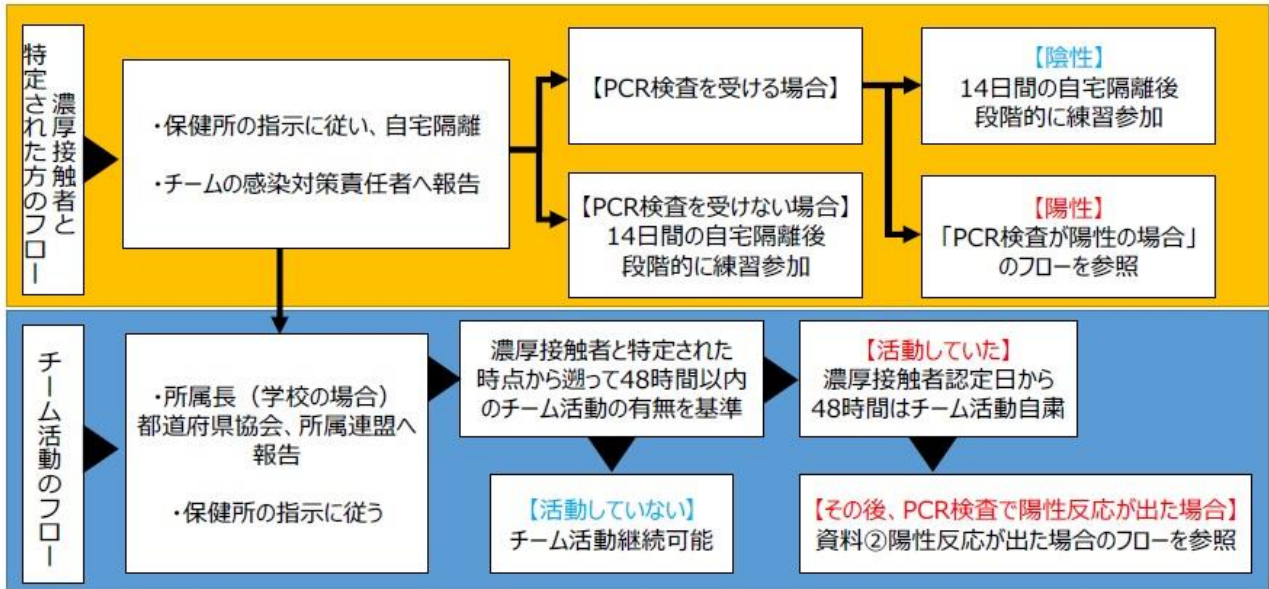
【大会参加可否の事例② チームから陽性者が出た場合】

※「検査結果日」ではなく「発症日」を基準としてください。



【チーム活動時におけるガイドライン】

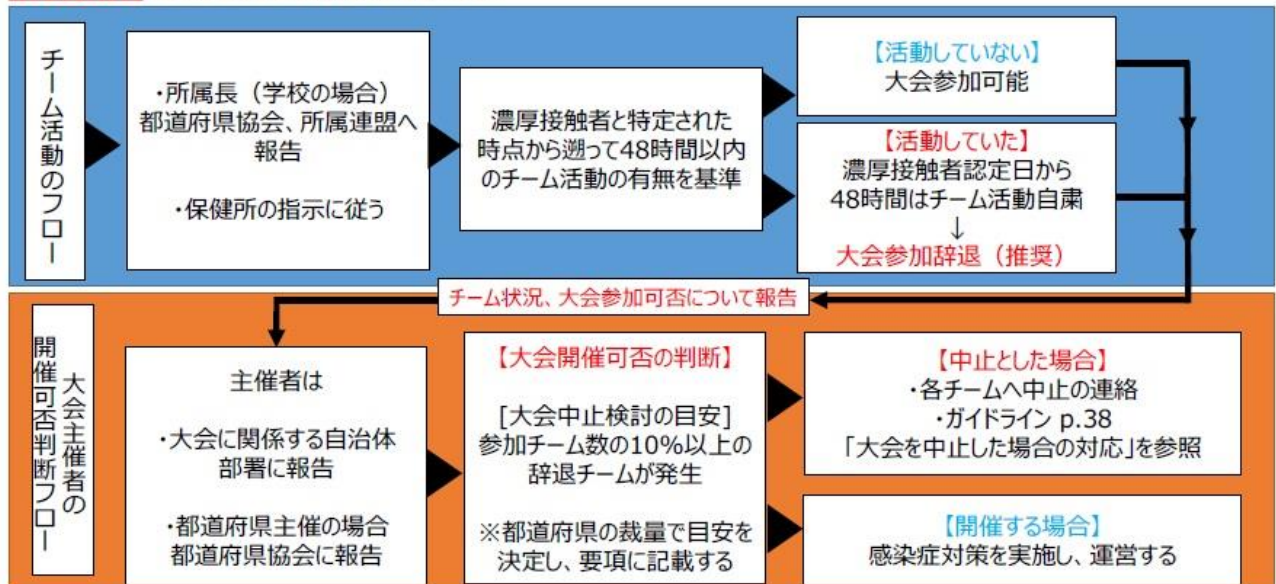
資料③チーム内選手・スタッフから濃厚接触者として
特定された場合のフロー



チーム責任者・大会主催者向け

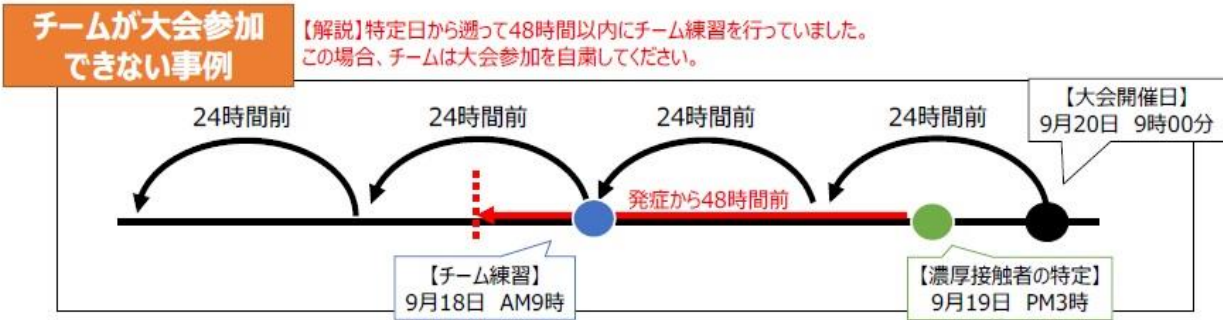
【大会開催前におけるガイドライン】

資料③チーム内の選手・スタッフから
濃厚接触者が出た場合の大会参加判断フロー



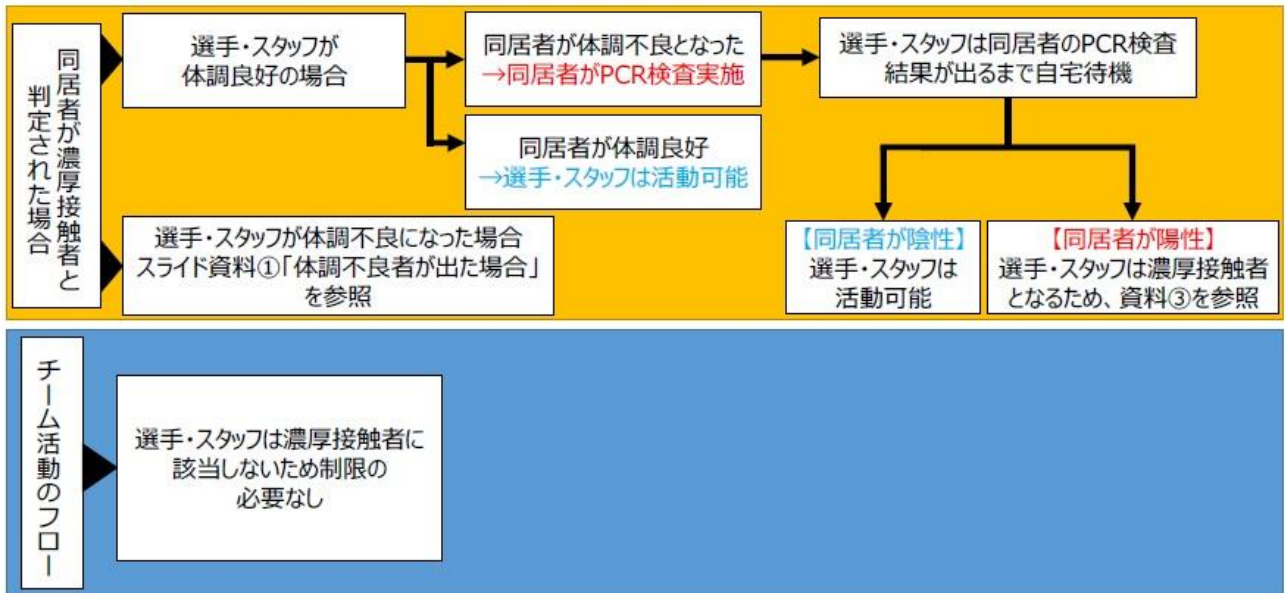
【大会参加可否の事例③ チームから濃厚接触者が出た場合】

※「検査結果日」ではなく「発症日」を基準としてください。



【チーム活動時におけるガイドライン】

資料④チーム内選手・スタッフの同居者が濃厚接触者として特定された場合のフロー



10) 移動等について

(1) 移動

- ・市町村間での移動の制約が出た場合、学校長に相談のうえ指示に従ってください。
- ・移動の際は、個人単位で予防対策をしてください。
- ・公共交通機関を利用しないことが推奨されます。
- ・自家用車などで移動する場合も、乗り合わせを避け、個人でのアクセスが推奨されます。

(2) 食事

- ・会場内での食事はしないことを最優先にしてください。(控室や更衣室含む)
- ・会場内で食事をせざるを得ない場合は、食事前後の手指衛生、うがい並びに環境整備(換気、椅子、テーブルの消毒)をその都度行い、複数人や対面での食事、食事での会話を避け、飛沫感染予防に徹底すること。

(3) ミーティング

- ・基本的にWeb会議などをメインにして、極力対面を避けるように心がけてください。
- ・対面でのミーティングを行う場合は極力人数を絞り、常に社会的距離(できるだけ2m、最低1m)が取れる広い場所で行い、換気をこまめに行ってください。
- ・ミーティングを行う際は、出席者全員マスクを着用してください。

11) 育成センター開催にあたっての留意点

- ・「新しい生活様式」に加え、バスケットボールを行う上での感染対策を行うと共に、会場内では更衣室、ベンチ等、他のチームも利用する場所の除菌には十分留意してください。
 - ・原則1面15~20名程度で練習を実施してください。
 - ・スタッフもできる限り滞在時間を減らす努力を行ってください。
 - ・会場には活動開始の30分前から入場できます。それ以前に集合することがないように十分注意してください。
 - ・会場の入場時に、選手、スタッフは健康チェックシート兼参加承諾書、体温チェックシートを受付で提出し、入場許可を受けてください。入場許可後は、消毒を行って入場をお願いします。
 - ・活動が終了したら、速やかに会場を出るように心がけてください。退場時も消毒をお願いします。
 - ・マスクは個人で持参し、使い捨てマスクの場合、使用後は全てのごみとともにビニール袋に入れて持ち帰ってください。
- (受付時や、着替え時等のスポーツを行っていない際や、会話をする際にはマスクを着用する)
- ・消毒用アルコールは主催側でも用意しますが、各自でも用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や使用用具の消毒を実施してください。
 - ・手拭き用のタオル等は各自持参してください。
 - ・リュック等の荷物はまとめて、指定された場所に置くようにしてください。
 - ・ハドル、円陣を組むこと、ハイタッチ、抱擁はしないでください。
 - ・ボトル、タオルを共有しないで各自で用意、使用してください。
 - ・体調不良者がいた場合は、参加の辞退を促します。地区責任者は事前に、参加辞退になることもあり得る旨を、選手・保護者に十分説明をしておくこと。
 - ・観客の有無については、感染状況や会場の収容人数等を考慮し決定します。

〔会場からの感染防止チェックリスト〕

～参加者が遵守すべき事項～

□ 以下の事項に該当する場合は、自主的に利用を見合わせる。

※該当する場合には利用ができない場合があります。

ア. 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

イ. 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合

ウ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

エ. 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

□ マスクを持参すること(受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。)

□ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

□ 他の利用者、施設管理者スタッフ等との距離(できるだけ 2 m 以上)を確保すること。(障害者の誘導や介助を行う場合を除く。) 口利用中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

□ 感染防止のために施設管理者・主催者が定めた措置を遵守すること。

利用終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

□ 参加者が運動・スポーツを行う際の留意点に十分な距離を確保すること。

□ 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)

□ 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること。

□ 走る・歩くイベントにおいては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。

□ 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。

□ タオルの共用はしないこと。

□ 飲食については、熱中症等のリスクも踏まえつつ指定場所で行い、周囲の人となるべく距離を取って対面を避けること。また、飲食中の会話は控えめにすること。

【県責任者】

山口 勇貴 (美野里) 090-4714-0636

【感染対策責任者】

鈴木 孝一 (笠原) 080-3443-8417

【感染対策副責任者】

額賀 浩司 (下稻吉) 080-1300-4460

健康チェックシート兼参加承諾書（提出用）

本健康チェックシートは、（一社）茨城県バスケットボール協会が開催する育成センター事業において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。
 本健康チェックシートに記入いただいた個人情報について、（一社）茨城県バスケットボール協会は、厳正なる管理のもとに保管し、事業運営関係者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、会場にて感染者患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要範囲で保健所等に提供することがあります。

<基本情報>

チーム名		生年月日	平成 年 月 日
フリガナ		保護者氏名	
氏名		保護者連絡先	
		Eメールアドレス (任意)	
住所	〒 -		

<事業当日までの体温>

日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃		
/ ()	℃	/ ()	℃	/ ()	℃		

<事業2週間前における健康状態> ※該当するものに「✓」を記入してください。

チェック項目	チェック欄
① 37.5℃を超える発熱がない	
② 咳（せき）、のどの痛みなどの 風邪症状がない	
③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない	
④ 臭覚や味覚の異常がない	
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等がない	
⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない	
⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない	
⑨ その他、気になること（以下に自由記述）	

（事業参加者が未成年の場合）保護者 確認欄

保護者 氏名

確認日 令和 年 月 日